



「体験的に学ぶ」「協働的に学ぶ」そして「ローカルに学ぶ」

今年度から、千葉県エリア（千葉・柏）でもキャンパスでのスクーリング（面接指導）がスタートしました。本校では、地域やサポート校によってスクーリングの実施方法も様々です。通信制高校において、スクーリングは貴重な対面指導の機会です。「体験的に学ぶ」ことや「協働的に学ぶ」こと、そして広域通信制ならではの「ローカルに学ぶ」ことを、できるだけ取り入れてスクーリングや校外活動を行い、その指導の充実を目指しています。

生徒が、教室内だけで完結する学びを一步広げて、「その地域ならではの人・もの・こと」にかかわりながら学ぶ場は、「体験的」で「協働的」な学びにつながり、生徒一人一人の見方・考え方を広げたり深めたりする学習効果が期待できます。

今回は、そのキャンパスならではの「ローカルに学ぶ」一例を紹介します。

ひたちさくらロードレースボランティア（日立）



土浦市立図書館で壁装飾ボランティア（土浦）



地域のこども園でダンスクラブ交流（会津）



宝珠山立石寺「山寺」で歴史と国語を学ぶ（山形）



日立本校の生徒は、例年ひたちさくらロードレースのボランティアとして活動しています。この他にも市のイベントに積極的に参加して学んでいます。土浦キャンパスの生徒は、地域の市立図書館で児童書コーナーの季節に合わせた壁装飾ボランティアに取り組んでいます。先輩から引き継ぐ継続的な地域ボランティアです。会津キャンパスダンスクラブの生徒は、今年、地域のこども園を訪問して子どもたちと一緒にダンスを楽しみました。園の子どもたちのノリノリな様子が伝わってきます。山形キャンパスの生徒は、歴史や国語の学習として「山寺」を訪れました。地域の学習材に学ぶ貴重な機会です。秋には名物「芋煮」にも挑戦します。

それぞれのキャンパスやサポート校で、「ローカルに学ぶ」よさを実感する教育活動を展開しています。「ローカルな学び」を礎に、グローバルに活躍できる人になってくれることを願っています。 …つづく